

『暗号資産(仮想通貨)』って何？

最近、テレビコマーシャルでもネットでも取り上げられている暗号資産って何でしょうか？日本においても、実務上の取扱いとして、多様な投資スタイルが広がってきており、暗号資産という言葉が日本でも浸透してきています。“暗号資産(仮想通貨)”とは、何でしょう？

円やドル等の法定通貨ではなく、国による保証を持たない通貨・デジタル資産のことです。実際に存在する紙幣や貨幣とは異なり、バーチャルな世界や電子取引等で通用する通貨で、バーチャルマネーとも呼ばれます。

1990年代後半からソーシャルゲームや電子マネーとともに発達し、2023年2月現在、2万種類以上の暗号資産が世界中で流通しているといわれています。世界中で即時かつ安全な送金や資産の保全ができるという特徴がありますが、注意すべき事項もたくさんあります。

代表的な暗号資産はビットコイン(Bitcoin)やイーサリアム(Ethereum)ですが、現在では取引所等で売買することが可能となっています。暗号資産そのものは値動きも激しく、投機的な側面もあるため、商品性を十分に理解せずに投資した為に損失を被ることもあります。

また、暗号資産(仮想通貨)を利用した詐欺案件も横行しており、消費者トラブルが増加しています。

この講座は、暗号資産の個別の投資案件を勧めたりすることを目的とした講座ではありません。あくまで、暗号資産の歴史や仕組みと利用者保護に重点を置いた基礎知識を学ぶ講座となります。

講座内容

- 暗号資産の定義と特徴、暗号資産市場の概要
 - どのような経済的な機能を果たすのか？
 - どのような規制があるのか？
- 暗号資産の技術・ブロックチェーンとは何？／マイニングとは何？
- 主要な暗号資産の概要
- ビットコインのコインの誕生
- 暗号資産の取引と保管
- 暗号資産の投資とリスク管理
 - 取引所の暗号資産流出事件(ハッキング)リスク
 - 価格変動リスク
 - 詐欺遭遇リスク=具体的な消費者トラブルの事例と詐欺に合わない為の留意点
 - 課税関係(暗号資産の課税の仕組みと課税計算の具体例)
- 暗号資産の取引所と販売所
- 暗号資産取引の方法(口座開設とセキュリティ対策)
- 暗号資産の将来展望



講師

奥田 伸一 *Shinichi Okuda*

1981年三和銀行(現三菱UFJ銀行)入行。2003年中小企業の再生及び事業承継ファンドの運営会社を設立(代表取締役就任)。2011年会計税理士事務所及び企業再生、M&Aのコンサルティング会社で会社の経営支援に携わる。2018年阪神タイガースの球団関連業務の企業に取締役として招聘され2021年1月まで経営に携わる。

以降、神猿予備校の専任講師に就任。

宅地建物取引士・貸金業務取扱主任者・ファイナンシャルプランニング技能士(FP)の国家資格を有する「お金」のプロとして、各セミナー、研修会等で活躍。

流ちょうで丁寧な講座として定評。

